



一般質問

■コミュニティスクールについて

コミュニティスクールが必要ではないか！

質問 ①学校評議員制度は機能しているか。②努力義務化された学校運営協議会の設置をどう受けとめているか。③学校支援地域本部事業に取り組んだ成果をコミュニティスクールに活用できないか。④学校の独自性はどの程度尊重されているのか。

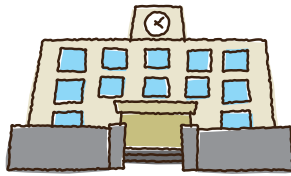
答弁 ①行事や学校訪問、授業参観など年間を通して学校の様子が評価できるよう見ていただく機会を設けており、各学校からの報告書では学校運営等に対し適切な評価をいただき、学校評議員会は機能していると考えます。②学校として地域の力を借り、協力を得たいという思いと、地域として学校のため手を貸し、学校の運営に協力したいという思いが合致し、双方から学校運営協議会の設置を求める声が上がってくるようであれば、前向きに検討していきたい。③七尾東部中学校で事業実施されたが、学校と地域が協力する体制にあったため、学校支援地域本部事業のような仕組みを必要としなかったのではないかと考える。④年度当初に学校長が学校経営に関する明確なビジョンを打ち出し、具現化に向け、取り組みを各学校で行っており、各教員や保護者にも示している学校の独自性は十分担保されていると考える。

【その他の質問項目】

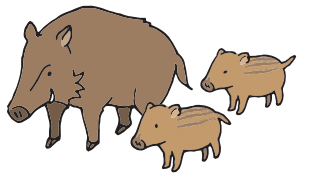
- 病院経営について
- 学校図書館図書の実態について
- 避難所の安全管理について



山添 和良 議員
(無党派)



久保 吉彦 議員
(灘会)



一般質問

■豚コレラについて

イノシシと豚コレラの対策を！

質問 ①イノシシの捕獲数は。②豚コレラ対策としてワクチン散布などの対策はあるのか。③感染したイノシシはどのように処分されるのか。④食用肉による感染の心配はあるのか。

答弁 ①8月末現在イノシシの捕獲状況は247頭であり、昨年度同時期319頭と比べ72頭減っており、能登地区でも前年度と比べ約3割減少している。暖冬であったため、山に十分に餌があり捕獲数が減少していると分析している。②県が計画する経口ワクチン散布に協力する予定であり、関係町会を対象に説明会を開催した。餌づけのためワクチン無しの餌を埋設、口を空けてワクチン入りの餌を埋設する。その後調査捕獲し、イノシシの抗体検査を実施する。③豚コレラに感染したイノシシは、現在のところ焼却施設が無い場合、少なくとも1メートル以上の穴を掘り、掘削した側面、底及びイノシシ全体に消毒の石灰を撒き、県職員立会いの下で埋却、豚コレラにより殺処分された豚は、4メートルの深さで埋設することになっており、掘り起こしの心配はないと考える。④豚コレラに感染した肉を食べても、人の体内に入らず死滅するため、人から人へ豚から豚には感染はせず、人の排泄物からウイルスは検出されていない。

一般質問

■パトリア問題について

パトリアの再生を！

質問 多年にわたり七尾都市開発の経営状況をどのように把握してきたのか。また議会への報告はどのような方法で行われたのか。今後どのような形で向き合っていくのか。

答弁 公共施設が入居していることも踏まえ、同社に株式参加し、副市長が個人資格で社外取締役としてかわってきている。株主総会などの決算報告などで経営状況の把握にも努めてきた。議会報告義務のない法人だが、先見性という意味でも、本会議での提案を踏まえ、議長宛てに経営状況を報告している。ミナ、クルは、ホテル、フィットネスクラブ、飲食店などが入居し、パトリアは生鮮食品、日用品、贈答品を販売する商業系で構成され、業態が違っていることから、特色を生かしながら、相乗効果が図られるよう機能分担されていると理解しているが、パトリアは機能を果たしていない状況で、本来の姿に戻したい。1、2階の再生を急ぐ必要があり、商工会議所、経済界に対し考えを照会している最中である。

【その他の質問項目】

■12年ぶりの逆転路線について



中西 庸介 議員
(新公会)



パトリア